



奇跡なんかじゃない

12月2日。朝、目覚めてすぐにテレビをつけるとそこには日本勝利の文字が躍っていました。いま世界中を熱狂させている、サッカーワールドカップのグループリーグ最終戦で日本がスペインに勝利したことを告げるニュースでした。さすがにAM4:00キックオフはつらいなあ、勝つのは難しいだろうなあという気持ちがあり、観なかつたことを後悔しつつ、それでも思わず「よっしゃーーー。うそやろ！！」と一人声を出してしまいました。落ち着いてみるとドイツ戦と同じように1点を先制された苦しい展開から後半に一挙2点を奪い、逆転勝利。しかもグループを1位で通過したこと。ドイツもスペインも過去に優勝経験のある強豪国。ランキングでももちろん日本よりも上の国です。ドイツに勝利した時に「**奇跡**」と言われましたが、ここまでくるとまさに奇跡ではなく「**必然**」と言っても言い過ぎではないように思えてきました。



FIFAワールドカップ（英：FIFA World Cup）は、国際サッカー連盟（FIFA）が主催する、ナショナルチームによるサッカーの世界選手権大会のことです。サッカーの大会における世界最高峰と位置付けられ、全世界の総視聴者数は35億人を超える夏季オリンピックと並んで最も多い大会と言われています。

試合後、インタビューに応じた森保一監督は「選手たちが本当にタフに粘り強く自信を持って戦ってくれたと思います。試合を通して苦しい戦いでしたけど、彼らは**必ず自分たちができる**と信じ続けて、チーム一丸となって最後まで戦ってくれたのがよかったです。何よりも現地のサポーターのみなさんが応援してくれたこと、日本からエールを送ってくださったみなさんの気持ちが伝わって勝てたと思います。」とコメントを残していました。また、「できるだけ失点を抑えながら、我々は得点を狙っていくこと、前半から出た選手たちがつないでくれて、後半の勝利につながったと思っています。**みんなでつなげた勝利**です。」さらに「順位的な新たな景色はベスト8ですけど、世界の舞台で戦っていけるということは、選手たちが違った新しい景色を見せてもらっています。最後、ベスト8以上の新しい記録をつかみ取りたいと思います。」、「我々のサポーターのみなさん、国民のみなさん、本当に応援ありがとうございます。みんなの応援のおかげで、こうやって苦しい試合をものにすることができます。みんなに勝利を届けられて、一緒に喜べる結果が出てうれしいです。」と締めくくっていました。

勝てると思っていたコスタリカ戦にまさかの敗北。ドイツ戦に勝利した時には選手や監督を褒めたたえていた声も、負ければ厳しい声（誰のせいに負けたとか監督の采配が悪いなど）がたくさんSNS上にも乗せられていました。校長先生は個人的にはこれはどうかなあと思います。現地で死ぬ気で戦っている選手やスタッフのことをどうこういう資格は私たちにはありません。どこまでも彼らをリスペクトする気持ちを忘れず、初のベスト8進出という夢がかなうように応援していきたいと思います。最後に、長友選手の言葉、「本当に。監督、チームメート、みんなブラボーだし。スタジアムのサポーターもブラボーやし、日本でテレビの前で応援してくれたみんなブラボー。みんなブラボー。すごすぎる」

さあ、クロアチア戦の勝利をみんなで祈っていきましょう。がんばれ！にっぽん！